

唯一の主を信じます

主任司祭 吉池 好高

天地の創造主、全能の父である神を信じます。キリスト教の信仰を生きるわたしたちはこのような神を信じています。キリスト教の教会と出会って、その教会に伝えられてきたこのような神への信仰を受け入れることを表明し、洗礼を受けることによって、わたしたちはキリスト者となりました。けれども、このような信仰を保って生きることはそう容易なことではありません。わたしたちが生きるこの世界と、その中に生きるわたしたちの人生の日々は、どこを見ても、わたしたちの信仰心を萎えさせるようなことに満ちていると思われるからです。

しかし、だからこそ、このような世界を生きてゆくために、わたしたちは信仰を必要としているのです。それなしには、わたしたちは行く手に希望の光を見出すことができないからです。天地の創造主、全能の父である神を信じますという信仰は、神がこの世界を創造されたということだけを言っているだけではありません。全てのものの創造主である神こそがこの世界の真の主であるのです。ニケア・コンスタンチノーブル信条は、「わたしたちは信じます。唯一の主、全能の父である神を」と明確にこのことを表現しています。この世界に起こるすべてのことの最終的責任は神にあるということは、やり場のないわたしたちの悲嘆と憤慨に応えることができるお方がいるということを告げています。

事実、神はこの世界の創造主としての責任を取るために、自らこの苦しみの世に一人の人間となってきてくださり、十字架の上にそのお姿を晒してくださったのです。誰も取ることのできないこの罪の世の責任を一身に担って十字架の道を歩み通してくださったのです。ここに、わたしたちが信じる神の愛が示されています。

この世界の苦しみ、悲しみのすべてを身をもって知ってくださる神は、そこから立ち上がって歩み通す力をわたしたちにも与えるために、その全能の力をもってわたしたちの行く手を開いてくださったのです。わたしたちの最終目的地は、墓の彼方に開かれた全てのものの創造主である神の永遠のいのちのうちに用意されているのです。そこを目指して歩み通すことができますように。